

「一人一台端末を活用した学力向上を目指した授業実践」

蓮田市教育委員会・蓮田市立平野小学校

1 蓮田市教育委員会の取組

蓮田市では、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの実践を進めている。アクティブ・ラーニングの学習過程にICTを効果的に取り入れることで、児童生徒にとって興味関心を高める授業を実現することを目標とし、授業の質の向上及び確かな学力の定着を目指す。

蓮田市のICT環境整備状況

- ・タブレット端末 学習者用、指導者用一人一台整備
- ・端末OS Microsoft Windows
- ・学習支援アプリ ラインズeライブラリアドバンス、SKYMENU Cloud
- ・学習プラットフォーム Microsoft 365 Education Promo
- ・超高速インターネット及び無線LAN整備（令和4年度に全小中学校に整備完了）
- ・大型提示装置 小学校2教室に1台程度、中学校普通教室に1台

2 蓮田市立平野小学校の取組

本校では、主体的な学びの実現を図るために一人一台端末を積極的に活用し、学び合いや学びの深化を工夫しながら、児童の学力向上に努めている。

(1) 一人一台端末の導入時の指導

一人一台端末やインターネットを適切に活用し、学習をより効果的に行なえるようにするため、使用方法や使用の約束について、発達段階に合わせて下記のような内容の指導を行った。

- ①タブレットの持ち運び方、扱い方
- ②タブレット使用の10の約束
- ③端末へのサインインの方法（パスワードの入力、管理）
- ④インターネットへの接続方法

(2) 一人一台端末を活用した授業実践事例

各教科等の学習の中で、一人一台端末を活用して、下記のような実践を行った。

① 算数「自力解決」場面におけるカメラ機能・SKYMENU Cloudの活用

- ・教員機から電子ワークシートを配布し、そのシート上に書き込みを行ったり、自らの考え方を記したノートを写真に撮って端末上の電子ワークシートに貼り付けたりして、自力解決を行った。
- ・電子ワークシートを、提出することで、教員機から児童一人一人の状況を確認できるようになるため、適切な支援や達成状況の評価に生かすことができた。



② 算数「自力解決」場面における学習者用デジタル教科書（デジタルコンテンツ）の活用



6年「円の面積の求め方を考えよう」

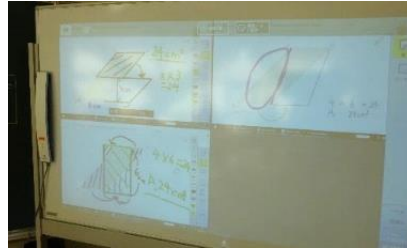
円の面積を求める公式を導くため、円を細かなおうぎ形に分割して並べ替え、長方形に近づけていくシミュレーションを活用した。アニメーションにより、図形の変形のイメージをもって、自力解決を行うことができた。

4年「計算のやくそくを調べよう」

ドットを動かしたり、書き込みをしたりすることができるコンテンツを活用した。ドットを動かすことにより、並び方やまともに着目した多様な考え方で自力解決を行うことができた。端末上で何度でもドットを動かすことができ、視覚化が図られ、思考を深めることにつながった。



③ 算数「学び合い」場面における SKYMENU Cloud(グループワーク機能)の活用



児童一人一人が書き込みをした電子ワークシートをグループワーク機能を用いて端末上で共有し、グループでの学び合いに活用した。大型提示装置には、児童が提出したワークシートの一覧を表示することで、比較することが容易になった。考え方の共通点や相違点等を考える際の有効な手立てとなり、学びを深めることにつながった。

④ 生活科、理科での「観察」場面におけるカメラ機能、ペン機能の活用



植物等の観察記録を行う際に、児童が各自で写真や動画の撮影を行った。写真や動画を繰り返し見たり、拡大して見たりすることができ、細部までじっくりと観察をしながら記録をとることで、気づきを深めることができた。

⑤ 全学年 学習内容の習熟のための学習者用デジタル教科書、ライズeライブラリアドバンスの活用

自らの学習履歴が残るため、一人一人の習熟状況にあった問題に取り組むことができ、個に応じた学びを行うことができた。

家庭学習でも、同様の学習に取り組めるため、学校だけでなく家庭でも習熟を図り、学習内容のより一層の定着を図ることができた。



(3) 成果と課題

① 成果

- ・一人一台端末を活用することで、デジタルコンテンツ等を学習の中で利用できる機会が増え、児童が見通しをもって、主体的に学習に取り組めるようになった。
- ・電子ワークシートを共有し、グループでの学び合いに活用したり、大型提示装置にワークシートの一覧を表示したりすることで、考え方の共通点や相違点等を考える際に活用でき、学びを深めることにつながることができた。
- ・一人一台端末を活用することで、一人一人の習熟状況に応じた学習を行いやすくなり、学習内容の定着、学力の向上につながることができた。

② 課題

- ・一人一台端末の活用に進めるにあたって、従来の紙媒体のノートと端末上の電子ワークシートの利点を考慮しながら、主体的・対話的で深い学びの実現を目指していく必要がある。